

## リフォーム現場の長尺人工大理石天板の製作について

今回の依頼は、RC 構造で 3F の W4300 リビング収納に人工大理石の W4300\*D400\*t59 の天板を製作するものです。

ここでの問題は RC 壁の凹凸がかなりあり、天板の壁側をストレートに製作すると塗り壁厚ではカバーしきれない状況で隙間が発生します。

そこで、天板の壁側を 100mmピッチでオフセット計測し、人大加工工場に CAD データを送り手間ではありますが、何とか加工していただきました。もちろん、天板長が長いため、天板は 2 分割として現場接合となります。



このボックスは大工さんが製作し、その上に人大の天板を製作セットするものです。

凹凸のある RC 壁に出来るだけ沿うようにオフセット計測しました。



まず、箱自体がまっすぐであるかどうか確認し、長尺であるだけに多少のズレは補正して青い基準線を設定し、そこから 100mm ピッチでの壁までの距離を測定し、測定値より 2mm 短く各点を図面化しました。

\*\*\*この 2mm の余裕は人大の多少のアジャストに対応させるものです。





2分割であっても重たい人大の内階段での3Fまでの持ち込みも大変でしたが、こうして納まりますと多少の達成感を覚えます。

また 長尺 W4300\*D400\*t59 の人工大理石天板により、造作家具もさらに存在感が増したようです。

(株)マルダイ 家具部 Da・monde 鈴木

平成23年11月4日